

平成27年度 事業報告

【法人運営】

1 理事会

開催日	議題
5月23日	平成26年度相談支援拠点区分最終補正予算が承認されました。 平成26年度事業報告と決算が承認されました。
10月31日	平成27年度生活介護・共同生活援助・相談支援拠点区分第1次補正予算が承認されました。 上半期事業報告がなされました。
翌3月26日	平成27年度第2次補正予算が承認されました。 平成28年度事業計画と予算が承認されました。 てふてふの管理者の再雇用の件が承認されました。

2 評議員会

開催日	議題
5月23日	平成26年度相談支援拠点区分最終補正予算が審議されました。 平成26年度事業報告と決算が審議されました。
10月31日	平成27年度生活介護・共同生活援助・相談支援拠点区分第1次補正予算が審議されました。 上半期事業報告がなされました。
翌3月26日	平成27年度第2次補正予算が審議されました。 平成28年度事業計画と予算が審議されました。 てふてふの管理者の再雇用の件が審議されました。

3 監事監査 平成27年5月8日（金曜日）に平成26年度監事監査が行われました。

4 その他

- (1) 20周年記念式典が平成28年1月16日（土）12時よりサンプラザシーズンズにて開催されました。参加者 94名

【生活介護事業運営】

1 27年度を振り返って

高等部卒業生の1名を迎え、一般就労へ就職した1名を送り出し、定員30名で始めました。26年度から行なった休業日の行事は利用者の好評により行事の日として月1回第4土曜日に定着しました。

平日日課としては、作業生活を主とした事業展開を継続しました。加えて、一人一人のニーズを尊重し、畑クラブ、芸術クラブ、調理クラブなどの活動も継続しました。芸術クラブでは各作品展に出展し、作品展への見学を兼ねて外出する機会が増えていきました。調理クラブは月1回程度、季節に応じた調理を行い利用者みんなでいただく楽しみなクラブとなりました。

また、夏期休暇を利用しての一泊二日のキャンプは恒例となり楽しみな行事として定着している。グループホームからも入居者1名が参加し、総勢35名となったが、実施しました。

下請け作業の相手先が会社都合により受け入れできなくなり生産活動による収入が減りました。

2 開所状況

開所日数 266日 利用者延べ人数 6,669人 平均利用者数 25.1人 稼働率 82.3%

3 利用者数の変遷（年度末時点） 人

年度末	23	24	25	26	27
男	9	12	13	13	14
女	12	13	16	18	18
合計	21	25	29	31	32

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男	3	6	1	2	2		14
女	1	4	6	4	2	1	18
合計	4	10	7	6	4	1	32

平均年齢 32.5歳

支援区分	3	4	5	6	合計
男	7	3	4		14
女	8	9	1		18
合計	15	12	5	0	32

平均支援区分 3.6

4 職員体制

平成27年3月末時点

施設長(共同生活援助サービス管理責任者兼務)	常勤・兼務	1名		
サービス管理責任者	常勤・専従	1名		
生活支援員	常勤・専従	4名	有期・専従	2名
看護師			有期・専従	1名
事務員(相談員)	常勤・専従	1名		
医師			嘱託医	1名

5 生産活動(自主製品作りの販売・下請け)

単位：円

内容	26年度	27年度
クッキーづくり	522,200	511,390
藍染製品(ポーチ、巾着、コースター他)	136,200	140,650
縫製製品(刺繍雑巾、カバン他)	207,500	324,122
手織り製品(ポーチ、ショール他)	26,310	44,000
切り絵製品(作品、はがき)	9,650	1,300
その他の製品(アクリルタワシ等編み物系)	330,808	283,210
ボランティアさんの作品(ブローチ他)	145,800	130,940
下請け(業務用モップ洗濯、輸入雑貨検品他)	915,620	659,986
合計	2,294,088	2,095,598

※販売先・・・天白区役所(毎週水曜日 10時～12時)・委託販売先 珈門(喫茶店) 各種イベント

	26年度	27年度
工賃(30名分)	1,761,910円	1,481,880円
一人月平均	4,894円	4,116円

6 職員研修 年間を通して一人1回以上は研修に参加

月	日	内 容
5	26・30	施設長会総会(県福祉協会)・施設長会(名障連)
6	18	新規事業所説明会
	23・24	新規採用職員研修
	29	全国施設長会議
7	8・15	ケアマネジメント研修1・権利擁護研究会
8	3・18・19	ケアマネジメント研修2・相談支援従事者研修1・2
	10	救命救急
	19	事務説明会
9	4	救命救急
	25	虐待防止研修
	16・20	ケアマネジメント研修3・相談支援従事者研修3
10	5	対人援助とコミュニケーション研修1
	5・29・30	相談支援従事者研修4・5・6
	8	医療知識研修
	14・26・27	サービス管理責任者研修1・2・3
	14・21	障がい者分野別研修・ケアマネジメント研修4
	27	健康保険事務実践講座
11	4・27	サービス管理責任者研修4・ケアマネジメント研修5
	4	相談援助技術研修
	19・20	基礎研修1・2
	9	対人援助とコミュニケーション研修2
	25・26	障がい福祉制度研修・年度末調整等説明会

12	2 7 7・9 9・16 25	ケアマネジメント研修 6 対人援助とコミュニケーション研修 3 現場で働くあなたのための研修・救命救急 社会福祉法人施設長セミナー・予算・決算対策研修 新任職員ステップアップ研修
1	21	売上アップのための POP 作成術
2	9・10 10・22	県知的障害関係施設職員研究大会（豊橋） 事務員研修・福祉サービス苦情相談事業研修会

7 主な行事 ○は土曜日の行事の日の内容

月	日	内 容
4	1～8 18 25	徳林寺花祭りの見学 スポーツ大会の練習会 ○フットベースボールの練習と調理クラブ
5	10・15 28 30	障害者陸上大会参加・事業所間フットベース交流会参加 避難訓練 ○モリコロパークへの散策
6	6 27	絞り祭りの見学 ○フライングディスク練習会
7	13 25	チェコの人コンサート ○風まつり参加
8	13・14 13～16 24・28 29	ふれあい一泊の旅(長野県売木村) 夏期休業 福祉施設絵画展・防災訓練 ○すいかわりとそうめん
9	26 29	○トヨタ産業技術記念館見学 バス旅行（なんば花月）
10	24 25 27	全国障害者スポーツ大会 IN 和歌山 天白区区民祭りで販売 名フィル鑑賞会に参加
11	5 7 28	県フットベースボール交流会に参加 てふてふ感謝祭（地域交流） ○やみなべ
12	26 29～1/3	○忘年会 年末年始休業
1	4・16 30	島田神社へ初詣・20周年記念式典 ○16ミリ映画鑑賞会
2	9～14・16 2/22～3/4 27	名古屋市障害者展示会に参加・避難訓練 しだれ梅祭りに参加 ○なばなの里見学
3	19	○ふれあいネット天白風船パレー

【共同生活援助運営】

1 27年度を振り返って

6月開所を目指して準備を行いました。利用者の入居は7月に3名入居しました。順次、利用者も職員も人数を増やしていき、初めてのグループホーム・短期入所の運営に無理が無いように勧めていきました。

家庭的なホームの中にも一人暮らし的な部分も織り込まれて折り、それぞれの利用者の方のニーズに沿うように話し合ってきました。

8月、10月、3月に利用者の方が一人入居されましたが、現在、1名空きがあります。

2 開所状況 平成27年7月より 定員7人 稼働率64%

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	4	4	5	5	5	5	5	5	6	
延べ利用日数	102	118	120	145	150	140	145	148	171	1,239
利用可能日数	31	31	30	31	30	31	31	29	31	275

<年齢>

10代	20代	30代	40代	50代	60代
0	1	3	2	0	0

3 職員体制

管理者(生活支援員兼務)	常勤・兼務	1名		
サービス管理責任者 (てふてふ管理者兼務)	常勤・兼務	1名		
生活支援員(世話人兼務)	常勤・兼務	1名		
世話人			有期・兼務	5名

4 職員研修

9月	個別支援計画作成基礎研修
12月	グループホーム世話人研修
1月	個別支援計画フォローアップ研修

【短期入所運営】

1 27年度を振り返って

まずはグループホームの運営が落ち着いてから短期入所の利用者枠も上げていくように、てふてふの利用者が中心となっています。初めて短期入所を利用される方が多く、健康状態や安全に留意して行いました。

2 開所状況 平成27年7月より 定員1名 稼働率46%

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	2	3	2	4	5	2	4	2	4	
延べ利用日数	17	16	11	16	16	11	16	9	17	129
利用可能日数	31	31	30	31	30	31	31	29	31	275

【相談支援事業運営】

1 一般相談支援(定着)事業 相談件数 1名

	26年度	27年度
主な障害		
知的	1	1
精神	1	0
居住区		
天白区	1	1
名東区	1	0

※課題

遠方ということで、担当をご遠慮された。気を使わせてしまった。近隣の相談支援事業所が引き継がれたので、ご本人にとってもよかったのかもしれない。

2 特定相談支援事業

(1) 平成27年度新規相談件数 9件(合計89件：内 契約解除累計 24件)

主な障害		居住区		利用されるサービス	
知的	3	天白区	9	生活介護	3
精神	5			居宅支援	4
身体	1			共同生活	1
				行動援護	1

(2) 契約解除の事由

事由	サービス利用無	相談支援事業所の変更	老人介護へ	行方不明
件数	11	10	2	1

3 職員体制 常勤1名

4 職員研修

11月4日 相談援助技術研修

5 課題

相談を始めてから3年目という方もいらっしゃるようになりました。

「目標が実現化していく」様子を期待していましたが、支援は難航することが多く、日々の相談に寄り添っているというのが現状でした。ご本人もこの現状から抜け出したいのだけれどうまくいかず焦っていらっしゃることもありました。

次に向けて、目標が叶うという経験は必要な事。アセスメントの中から、踏み出しやすい目標と一緒に考えていくようにしていきます。

6 障害児相談支援事業 相談はまだありません。